# 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成29年 9月28日 (木) 5校時 児 童 1年1組 男14名 女21名 計35名 指導者 徳田 千早子

1 単元名 よんでたしかめよう教材名 「うみの かくれんぼ」 (光村図書 1年上)

2 単元に位置付けた言語活動

### 【付けたい力】

(C読むこと)

- 事柄の順序や文章構成上の順序を考えながら読む力(イ)
- ・ 文章の内容と自分の 経験や知識を結び付 けて読む力(オ)

### 【単元に位置付けた言語活動】

・ 生き物の図鑑や科学読み物 を読み、「生き物のかくれん ぼカード」を書くこと

### 【その特徴】

説明文に書かれている事柄 の順序を理解し、そのこと を意識して、「かくれんぼカ ード」を書くことができ

#### 【遂行するための能力】

説明の順序や内容を考 えながら読むこと(1 上くちばし)

#### 3 単元について

#### (1) 児童について

児童は、これまで平仮名や片仮名の練習に意欲的に取り組んできた。読み書きができることで本を読んだり、文を読んだり書いたりする活動を楽しむ姿が見られる。説明文「くちばし」の学習では、問いに対する答えを見付けるという学習経験をしてきている。その学習を活かし、クイズ形式で他の鳥のくちばしについて紹介する「くちばしクイズ」をつくる経験もしてきた。どの子も興味をもって取り組むことができた。しかし、文を書く能力や理解力には個人差があり、自分の経験や知識を結び付けて読むことは不十分である子がいる。

交流活動については、ペアで自分の考えを話したり、グループ毎に発表会を開き感想を伝え合ったりすることを経験している。自分の考えを伝えることが出来るようになってきているので、友達の考えをしっかり聞いて認め合えるようにしていきたい。

#### (2) 教材について

小学校学習指導要領における  $1 \cdot 2$  学年「C 読むこと」領域の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本単元の指導事項は、「A 時間的な順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「A 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」である。

本教材は、「くちばし」に続く2単元目の説明的文章である。文章全体を見ると、「なにが、どのようにかくれているのでしょうか。」という問いに対し、3種類の海の生き物についての「答え」が列挙された構成であり、事柄の順序がわかりやすく説明されている。「何が」「どこに」「どのようにして」隠れているのかが、同じ文型で書かれているので、問いの答えが文章から見付けやすい。また、3枚の写真からも隠れる様子が読み取りやすくなっている。

このように、写真と文章を重ねて読むわかりやすい文章なので、児童は興味をもって読み進めることができると考える。

#### (3) 指導にあたって

#### 【研究内容1 言語活動を充実させる単元構想】

本単元では、「何が」「どこに」「どのようにして」という文章構成を用いた「自分で調べた海の生き物のかくれんぼカードをつくろう。」ということをゴールとして設定する。

#### 【研究内容2 思いをもって伝え合う言語活動】

第一次では、生き物を発見した経験や知識を交流させ、これからの学習への意欲付けを図る。 また、単元の最後には前単元「くちばし」の学習同様に、学習したことを生かして生き物につい てのカードを書くことを知らせ、学級に図鑑や科学的読み物を置き、子供たちに並行読書を促し ていく。

第二次では、前単元「くちばし」と比べながら、本教材が大きな問いに対して三つの答えという構成になっていることに気付かせる。説明文の入門期なので、説明する事柄や写真が順序よく並べられていることを丁寧に指導し、着実に理解させる。その際、学習している構成は、自分のカードを書く時の参考にするということを意識させる。また、自分の経験や知識と結び付けて読む楽しさも味わわせる。ペア学習を取り入れ、大勢の前で話すことに抵抗のある子でも安心して話し、見落としやわからないことを確認させていく。

第三次では、自分の興味をもった生き物について調べ、学習した「うみのかくれんぼ」の説明 の内容と順序を意識させ、カードに書く。最後には、カードをグループで発表し合い、感想を交 流し合う活動を行う。

## 【研究内容3 高まりを自覚させる振り返り】

単元を通して、振り返りシートを使い、順序だてて説明するとわかりやすいこと、自分の経験と結び付けて考えるとわかりやすいことなどを確認する。身に付いた力を確認することにより自分の高まりを自覚させていきたい。

#### 4 単元の指導目標及び評価規準

### (1) 単元の指導目標

- ○説明文を進んで読んだり、図鑑や科学読み物で調べようとしたりすることができる。(関心・意 欲・態度)
- ◎事柄の順序や文章構成上の順序を考えながら読むことができる。(読むことイ)
- ○文章の内容と自分の経験や知識を結び付けて読むことができる。(読むことオ)
- ○主語と述語の関係や、漢字の読み方に注意して文章を読むことができる。(伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項ア (カ))

### (2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・説明文を進んで読んだり、	<ul><li>問いかけがどんな事柄をとりあげて</li></ul>	・主語と述語の関係や、
図鑑や科学読み物で調べよ	いるかを理解している。	漢字の読み方に注意し
うとしたりしている。	・事柄の順序に気を付けて読み,何が	て文章を読んでいる。
	書かれているかを捉えている。	
	・自分の経験や知識と関わらせて、読	
	み取った内容を友達と話している。	

### 5 単元の系統性

### 1 学年

「くちばし」

・問いかけと答えが 3 回繰り返されて いる文章を読む。(列挙)



「うみのかくれんぼ」

・「問い一答え一答え一答え」で説明さ れている文章を読む。(列挙)



\_ └ 「どうぶつ園のじゅうい」

・時間的な順序を考えながら、自分の知識や経験を結び付けて読む。



「じどう車くらべ」

・事柄の順序に沿って、比べながら読む。

「二つの問い一答え一答え一答え」(列



「どうぶつの赤ちゃん」

・対比して、違いを比べながら読む。

「二つの問い一答え一答え」(対比的説

### 6 単元の指導計画及び評価計画 (8時間扱い)

<u> </u>	0 年元27日等計画及0.計画計画(0時間級2.7				
段階	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法		
-	① 生き物を発見した楽しさを	・掲示物や学習記録、写真な	【関】自分の経験や知識と		
次	交流し,既習の説明文学習を	どを用意し、経験や既習の	結び付けて、説明文や図		
1	振り返る。	学習を想起させる。	鑑等を進んで読もうとし		
時	教科書の写真から海に隠れ	・写真や学習課題・学習計画	ている。		
間	ている生き物を予想し、学習	を拡大掲示する。	(発言・観察)		
	課題と学習計画を設定する。	・図鑑等の並行読書を促す。			
	②「うみのかくれんぼ」を読	・漢字の学習は初めてなので	【読】自分の経験や知識と		
	み, 自分の知っていること,	丁寧に指導をする。	合わせて読んでいる。		
	興味があることを話し合う。		(発言)		
			【言】漢字の読み方に注意		
			して文章を読んでいる。		
次	③ 問いが何か,答えがいくつ	・前単元「くちばし」と比べ	【読】問いとそれに対する		
	あるかを確かめる。	ながら,大まかな構成をつ	答えが3つという構成に		
		かませる。	なっていることに気付い		
			ている。		
			(発言・ワークシート)		
	④「はまぐり」の事例を読んで	・問いに対する答えを,写真	【読】問いに対応して,説		
	確かめる。	と照応したり、本文を色分	明する事柄や写真が順序		
		けしたりして、見付けさせ	良く構成されていること		
		る。	を理解し,はまぐりの隠		
			れ方についての内容を捉		
			えている。		
			自分の経験や知識と合		
			わせて読んでいる。		
			(発言・ワークシート)		

2 学年

5 時	⑤「たこ」の事例を読み,「はまぐり」と比べて気付いたことを出し合う。	<ul><li>・前時で学習した問いの文と 「はまぐり」でわかったことを確認し、それを土台に 「たこ」を読ませる。</li><li>・いずれの事例も同じ構成で、三文で書かれていることに気付かせる。</li></ul>	【読】たこの隠れ方についての内容をはまぐりと比べながら捉えている。 自分の経験や知識と合わせて読んでいる。 (発言・ワークシート)
間	⑥「もくずしょい」の事例を読み,「はまぐり」「たこ」と比べて気付いたことや感想を交流する。(本時)	<ul><li>・学習してきたことを掲示し、前時までの学びを活かせるようにする。</li></ul>	【読】もくずしょいの隠れ 方についての内容をはま ぐりやたこと比べながら 捉えている。 自分の経験や知識と合 わせて読んでいる。 (発言・ワークシート)
三次2時間	⑦ 生き物の図鑑や科学読み物を調べ、選んだ生き物について「うみのかくれんぼ」に準じて「説明カード」を書く。	・児童が選んだ資料から教材 文と同じような情報を容易 に見つけられない場合は, 教師が個別に対応する。	【読】説明の順序を捉えて 図鑑や科学的読み物を読み、自分の選んだ生き物について読み取った情報を書いている。(カード)
	⑧ 調べた生き物の隠れ方を友   達に伝え合い,学習を振り返   る。	・児童が調べた図書資料を置いておき、興味に応じて読み広げられるようにする。	【関】図鑑や科学読み物で調べて分かったことを, 事柄の順序に気を付けて,進んで伝えようとしている。(発言)

### 7 本時の指導本時の目標

- (1) 問いに対する答えの部分を写真と合わせて読み、内容の大体と構成の特徴を捉えることができる。
- (2) 評価規準

もくずしょいの隠れ方についての内容をはまぐりやたこと比べながら捉えることができる。 (努力を要する児童への支援:写真から,どんな場所にどのようにいるのかを想像させ,文章 と照らし合わせられるよう支援する。)

- (3) 思いをもって伝え合う言語活動について
  - ① 目的と読みの視点を明らかにした活動について【言語活動 1】 目的・・・自分の「かくれんぼカード」に活かすために書かれている内容を読む。 読みの視点・・・前時までと同様に「隠れている場所」「体の特徴」「隠れ方」の 3 点が書かれていることを捉える。
  - ② 考えを形成し、交流し合う活動について【言語活動2】
    - ・ペア学習の中で、書かれている内容についてお互いに考えをまとめさせる。その際、分からなかった子や見落としている子にも気付かせる。また、ペアで話したことを全体の学習で取り上げ、指導する内容を押さえさせる。

## (4) 展開

段階       学習 活動       ○支援の手立て       ★         みとおりにの学習を想起する。       ○前時までの学習を想起さら問いに対する答えだとい識させるために、初めにを確認する。         まくずしょいは、どのようにかくれているのでしょうか。       を確認する。         などではよいは、どのようにかくれているのでしょうか。       ○「場所」「体」「隠れ方」を付けて読むことを確認を付けて読むことを確認を付けて読むことを確認を持たいる。         かられているばしよのからだのことの対しまでの場がある。       ○前時までの掲示物を示しの学習を生かしながら、トにサイドラインを引くるようにする。【言語活動をはずしよいの隠れ方にを捉えている。(ワークを使えている。(ワークを使えている。)         はなしあうことのおけれているばしよのからがのことのからなかった子や見落	せる。 うことを意 問いの内容 の3点。 に気 いっしがで りっとがで りっと かった。 もっしがで かった。 もったがで かった。 もったがで かった。 もったがで かった。 もった。 もった。 もった。 もった。 もった。 もった。 もった。 も
と お 2 学習課題を把握する。	うことを 問いの のする 前一と が 気 に ま う い の す る 。 時 り が で り で り て り で り て り て り て り て り て り て り
お	問いの内容 の3点に気 する。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
***	の3点に気 ける。 , 前時まで ワークができ あ1】 ついて内容
***	の3点に気 ける。 , 前時まで ワークができ あ1】 ついて内容
<ul> <li>もくずしょいは、どのようにかくれているのでしょうか。</li> <li>3 学習の流れの見通しをもつ。</li> <li>4 学習場面を音読する。</li> <li>5 「もくずしょい」について、内容を捉える。</li> <li>① かくれているばしょの学習を生かしながら、トにサイドラインを引くるようにする。【言語活動をくずしょい」について見付けたことをペアで話し合う。</li> <li>はなしあうことのはなしよのかくれているばしよのからだのことのはないのにある。</li> <li>① かくれているばしよのからだのことのはないのにから、たければいる。(ワークなどのことのはないのによるのではないのでは、またではないでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、また</li></ul>	ける。 ,前時まで ワークシー ことができ 動1】 ついて内容
分       3 学習の流れの見通しをもつ。         4 学習場面を音読する。       ○「場所」「体」「隠れ方」を付けて読むことを確認の前時までの掲示物を示しる。         ふ 5 「もくずしょい」について、内容を捉える。       ○前時までの掲示物を示しるがら、トにサイドラインを引くるようにする。【言語活動をする。         る かくれかた       るようにする。【言語活動を捉えている。(ワークまで話し合う。         値なしあうこと       ○話し合う視点を板書し、明確にさせる。書かれてのように表えを伝える。         ① からだのこと       のからだのこと	ける。 ,前時まで ワークシー ことができ 動1】 ついて内容
3 学習の流れの見通しをもつ。     4 学習場面を音読する。     ○ 「場所」「体」「隠れ方」を付けて読むことを確認    ○ 前時までの掲示物を示し	ける。 ,前時まで ワークシー ことができ 動1】 ついて内容
4 学習場面を音読する。	ける。 ,前時まで ワークシー ことができ 動1】 ついて内容
を付けて読むことを確認  「もくずしょい」について、内容を捉える。	ける。 ,前時まで ワークシー ことができ 動1】 ついて内容
<ul> <li>ふ 「もくずしょい」について、内容を捉える。</li> <li>① かくれているばしょ</li> <li>② からだのこと</li> <li>③ かくれかた</li> <li>○ 前時までの掲示物を示しの学習を生かしながら、トにサイドラインを引くるようにする。【言語活動★もくずしょいの隠れ方にを捉えている。(ワーク・で話し合う。</li> <li>ばなしあうこと</li> <li>① かくれているばしょのおくだのこと</li> <li>○ からだのこと</li> <li>○ からだのこと</li> </ul>	,前時まで ワークシー ことができ 動1】 ついて内容
か	ワークシー ことができ 動 1 】 ついて内容
② からだのこと ③ かくれかた 6 「もくずしょい」について見付けたことをペアで話し合う。     はなしあうこと ① かくれているばしょ ② からだのこと ② からだのこと     つからだのこと	ことができ 動1】 ついて内容
る ③ かくれかた	動1】 :ついて内容
6 「もくずしょい」について見付けたことをペアで話し合う。     はなしあうこと    ① かくれているばしょ    ② からだのこと    ② からだのこと	ついて内容
6 「もくずしょい」について見付けたことをペアで話し合う。	
で話し合う。     はなしあうこと     ① かくれているばしょ     ② からだのこと     つからだのこと     つからだのこと	
はなしあうこと ① かくれているばしょ ② からだのこと ○話し合う視点を板書し、 明確にさせる。書かれて ついてお互いに考えを伝	l
① かくれているばしょ 明確にさせる。書かれて ついてお互いに考えを伝	話す内容を
② からだのこと ついてお互いに考えを伝	
(0)	
1 (C 0 X(1)), C 3. Lan	音店勤 乙】
33   ④ ペアでおなじだったこと	
7 ペアで話し合ったことを学級全体で確認する。 〇学級全体で内容を確認す	·るととも
に、それぞれが感じたこ	
8 「もくずしょい」の段落と、「はまぐり」「た どを交流させる。	
こ」の段落とを比べて、事柄の順序が同じこと	
に気付く。  ○前時までの学習したこと	を掲示して
かくれかた からだ ばしょ いきもの おき,三つの生き物を比	べやすくし
にす るをつ す は ま ぐの の な の な が り り, 文型が同じであるこ	
ぐの つい の ぐ   ○はまぐり・たこと比べる	
con	とに気付か
せ、事柄の順序に沿って	書かれてい
ななましるろからうたっていることを気付かせる。	
ななま るろか う た ることを気付かせる。 るじわ 。を ら み こ 。 いり かだ の ろと えの そ にお い こ	
るかか いは い もくがしまい さんず しょい けど つ く い	
るかか いは い も 。 。らい るさ わ く だ で で で で で ち し 。 に う を も か しょ	
。 らい ささ おの だう。 をもの かしよい けど をしって	
	I

S	9 本時の学習を振り返る。	○学習してわかったことを振り返り,
り		感想を発表させる。
カュ		
	10、次時の学習な子生する	○海の味明みと「みくれ ノ ぼみ」 じょ
る	IO	
7		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
える 7分	10 次時の学習を予告する。	<ul><li>○次の時間から「かくれんぼカード」を書くことを知らせ、並行読書をている図鑑等から探しておくよう伝える。</li></ul>

# (5) 板書計画

